

## せなかのり

延與 侑一良  
えんよ ゆういちろう

しゅうぎょうしきのひに、いえでおひるごはんをたべていたら、せいちゃんが、

「ぼくのなつやすみのおてつだいは、にわのみずやりとげんかんのくつならべね。」

といいました。おかあさんは、

「せいちゃんはきちょうめんだから、びったり。」

といいました。ぼくは、「ぼくにびったりのおてつだいはなにかな？」とおもいました。

ぼくはせが小さいので、せんたくものをほしたりとりこんだりできません。ちからもよわいので、おふとんをほせません。

ごみぶくろは、ひきずってやぶけました。

おべんとうとおりょうりはつくりかたがわかりません。おさらあらいはきかいがします。

ぼくは、せいりせいとんがにがてなので、おそうじやおかたづけはむりです。

おかいものは、おかしのことしかわかりません。

みずやりは、せいちゃんがします。

せんたくものをたたむのとおふろそうじはたまにだったらいいけど、まいにちはいやだ。

おかあさんは、

「ゆうちゃんはことしはじめてだから、おかあさんがよろこぶことでもいいよ。」  
といいました。

だからぼくは、おかあさんがよろこぶことにしました。ぼくのなつやすみのおてつだいは、せなかのりです。せなかのりは、ぼくがおかあさんにいつもやってあげるマッサージです。ぼくがせなかのりをする時、おかあさんは「きもちいいー。」とよろこびます。せなかのりができるのは、かぞくでぼくだけです。おかあさんは、ぼくの中からのおもさがちようどいいといいます。だから、せなかのりはぼくにびったりのおしごとです。

おかあさんは、

「ゆうちゃん、わるいけど、せんたくきがピーピーッっていうまでおねがいね。」

といいます。ぼくは、おかあさんのせなかにあおむけにねて、ゆらゆらゆらーとからだをゆらします。ゆらゆらをはやくしたり、おそくしたりします。おかあさんは、

「ああ、きもちいい。つかれがふきとぶー。」  
といいます。

ぼくは、おかあさんのせなかのうえで、はなしをしたり、ほんをよんだり、テレビをみたり、いろいろします。ぼくは、せんたくきのピーピーがなってもせなかのりをつづけます。おかあさんは、ときどきねむっています。おかあさんは、まいにちえのおしごとや、ぼくたちのせわでつかれているから、ねてていいよ。おかあさん、いつまでもげんきでいてね。おかあさん、いつもありがとう。